

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アキュライン・エイトプラス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.520</b>	△RG <b>0.044</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アキュライン・エイトプラス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アキュライン8**

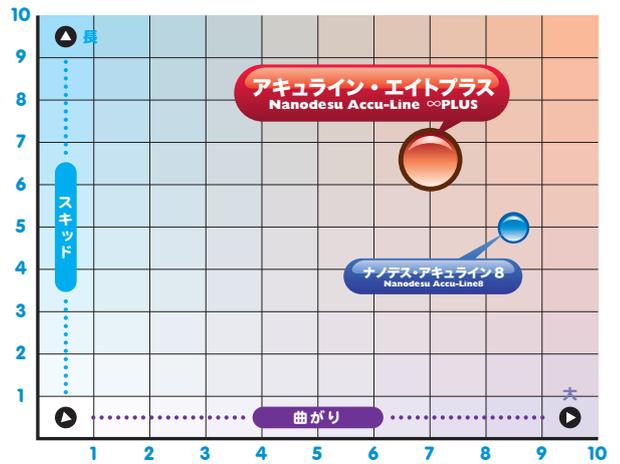
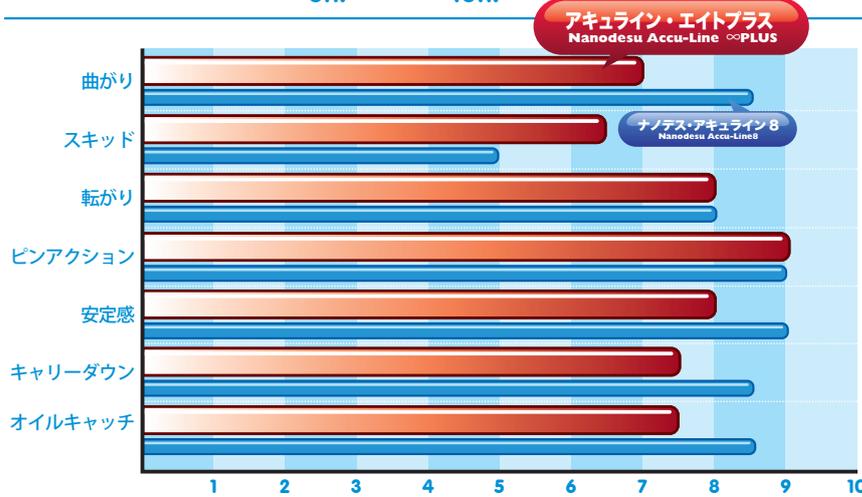
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

### ボールの評価

新しいコアシステム"BIG Shuttle"と新しいカバーストック。そして今までのピンアクションをさらに向上させる新しい衝撃吸収コアシステム。アキュライン8の3つの新しい取り組みはパフォーマンスに表れ、今尚多くの人に支持され追加生産中です。今回発売するアキュライン8Plusはモーションポテンシャルの大きいBig Shuttleコアの動力を出来るだけ先まで維持し、シャープなバックエンドリアクションを可能にしたアキュライン8の限定モデルです。

「如何に走り重視しながらバックエンドで強いグリップ感を出すか」。私達開発チームはアキュライン8のカバーストックをベースにスキッドとバックエンドの反応のバランスをコアの数値に至るまで細かく吟味し、新しい"Plusカバーストック"と業界初となる#4000アブラロン10,000ポリッシュという、きめ細やかな表面でこのアキュライン8Plusのパフォーマンスを実現しました。プロタイプですが、山本勲プロがJAPAN CUPでの遅いコンディションや先での動きが出ない時に使用し抜群の動きが得られたボールで、遅めのコンディションであっても十分に性能が発揮されていることも実際のトーナメントで立証されています。ミディアムヘビーなコンディションでアキュライン8を使い、ミディアムからミディアムライトなコンディションでアキュライン8Plus。ボールチェンジでイメージを極端に変える事なく、ポテンシャルの高いボールを幅広いコンディションで投げられることも視野に入れ、アキュライン8とPlus双方を持ちコンディション攻略にお役立てください。

限定500個の販売ですので、オーダーはお早め!

### 特記事項

スピードが遅めな特に女性の方や回転数の多めの方、実際にアキュライン8を投球しもう少し走らせたい方には是非使用して頂きたいボールです。